

英語科学習指導案

日時・場所 平成21年度7月8日(水) 5校時

生徒 3年C組 (男子15名 女子16名 計31名)

指導者 中坂 明子

1 単元名 Unit3 Speaking Plus1 コンサートに行こう (*New Horizon English Course Book3*)

2 単元について

(1) 生徒について

英語学習における生徒の実態については、第一に英単語を「読めない」「書けない」生徒が多いことが挙げられる。一、二年生で既習した基本文や単語などを覚えている生徒が少なく、英作文活動などでは個人的な指導が必要な生徒もいるため、学力差が大きい傾向にある。そのため授業では、ウォーミングアップとして毎時間フラッシュカードを用いて、前時の授業で学習した重要構文と一年生で学んだ基本文を話す・書く活動を取り入れ、定期的に小テストを実施することで定着度を確保している。繰り返し復習することで英文に慣れてきた生徒が増えているが、英語が苦手と感じる生徒に対して今後さらに対策を講じる必要があると考える。

第二に、英語を学習する上で、話すことや声に出して覚えることを重要だと理解している生徒は多いが、人前で英語を話すことに抵抗を感じる生徒も多く、戸惑いを見せることが予想される。したがって **Speaking** 活動では積極的に話せるような活動を工夫する必要があると考える。

本単元で取り扱う「相手を誘う」題材は、学校内でも学校外でもたびたび使われるフレーズであり、生徒に親しみやすい題材である。したがって、生徒の日常的な会話を用いて英語で表現することができると思う。

(2) 教材について

本教材「Unit3 Speaking Plus1 コンサートに行こう」では、**Would you like to~?**を取り上げる。本単元は、ロックコンサートについてのジェディと慎の対話を通して、コンサートに行こうと誘い、待ち合わせ場所・時間を決める会話を学ぶ。友達をさそうという題材は生徒にとっても身近であり、生活の中でも何度も交わされる会話である。本単元の活動ではこれらの題材を活かし、英語で相手をさそい、時間や場所などを提案することができる活動にしていきたい。

(3) 指導にあたって

今回の授業では、相手を誘う表現 **Would you like to~?**を生徒が理解し、習得できるような学習を展開していきたい。また、教科書を用いて対話文の意味や強調したい部分を押さえ、待ち合わせ時間や場所など情報を正しく相手に伝えられるような聞き手を意識した話し方に着目して指導していきたい。

話すことに対する抵抗を和らげるため、文構造や本文理解を押さえた上で対話文の練習に入りたい。そのために、素地として本文の和訳や本文読みを前時の授業で行っている。今回はワークシートを中心に読みの練習を重ねたい。また、授業の終盤では学級の友達にチケットを渡し、コンサートにさそうという活動を通して自然な会話の習得につなげたい。事前に生徒に友達をさそうならどこに行くかアンケートをとり、生徒に合った場所を確認しておく。

生徒一人一人が聞き手を意識した会話になるようペア練習の時間を十分に確保して定着を図りたい。また、生徒の雰囲気大切にテンポのよい授業を展開していきたい。

3 単元の目標

<関心・意欲・態度>

- ・ペア活動などで、ペアと協力して活動に意欲的に取り組んでいる。 ア、イ
- ・相手の話していることを聞き取ろうとしたり、相手に伝えようとしていたりしている。 ア、イ

<表現の能力>

- ・伝えたい場所や時間など、相手によって語句を選択して話すことができる。
- ・聞かれたことに対して適切に応答することができる。

<理解の能力>

- ・聞いた内容について大切な情報を聞きとることができる。 ア (イ)
- ・相手の提案を理解し、それに応じて話すことができる。 ア (エ)

<言語や文化の知識・理解>

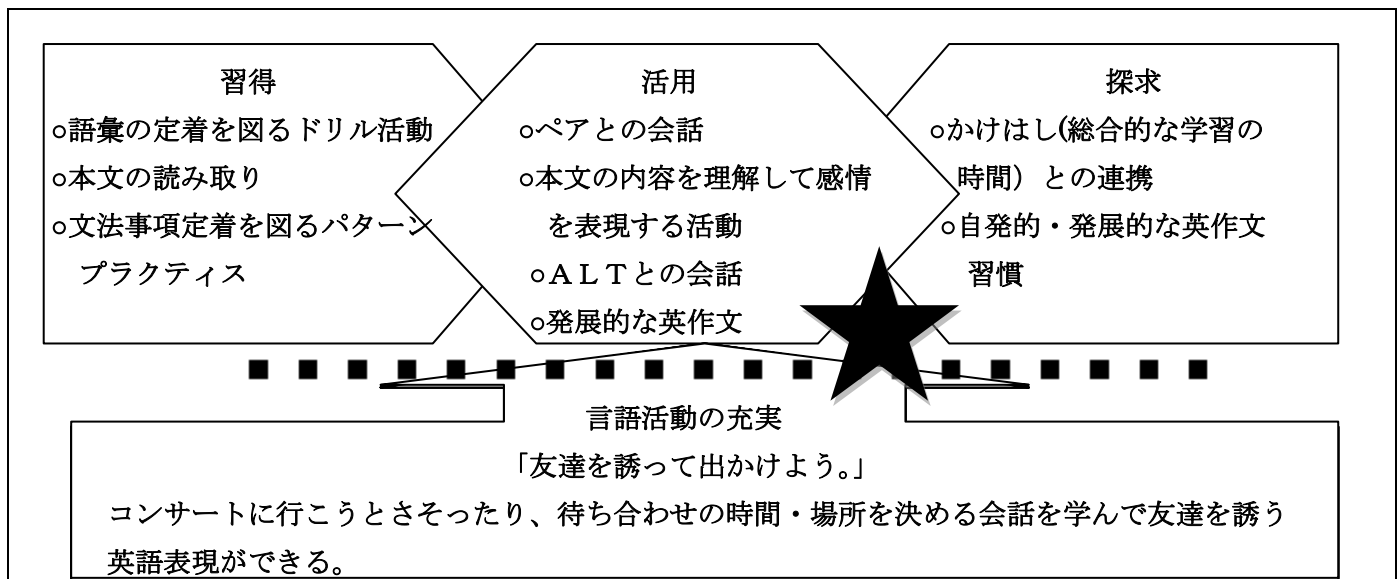
- ・文構造・用法を正しく理解している。(3)のエ (エ)

4 単元の指導計画・評価規準 (2時間扱い)

(1) 生徒について

		評価規準			
時間	学習内容	ア コミュニケーションにおける関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 知識・理解
1	Speaking Plus1 本文理解	・相手をさそうときはどのような表現があるか関心を持つことができる。	・情報を伝えるためにその場に適切な話し方ができる。	・書かれた内容について正確に情報を読みとることができる。	・Would you like to ~?の形・意味・用法を表現することができる。
2 (本時)	Speaking Plus1	・話し手が何を話しているか聞きとろうとしている。 ・相手と意欲的に話しをしている	・場面や相手に応じて適切な話し方ができる。 ・伝えたい情報を選択し、話すことができる。	・相手が話した大切な情報を聞き取り、内容を理解することができる。	・Would you like to ~?の形・意味・用法を理解することができる。

(2) 単元における「習得」「活用」「探求」の学びの流れと、言語活動の充実を図る手立て



5 本時の指導

(1) 目標

- ア 英語を用いて相手をさそおうとしている。
- イ 待ち合わせ場所や時間などを相手に伝えることができる。
- ウ 相手が話した情報を聞き取り、返事をするなど、適切に対応することができる。

(2) 評価

評価の観点	具体の評価規準		
	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	Bに至らない生徒への手立て
ア 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 英語を用いて積極的に相手をさそおうとしている。	英語を用いて積極的に相手をさそおうとしている。	英語を用いて相手をさそおうとしている。	相手をさそう表現を確認させ、参考例を確認しながら挑戦させる。
イ 【表現の能力】 待ち合わせ場所や時間などを相手に伝えることができる。	待ち合わせ場所や時間などを相手にわかりやすく伝えることができる。	待ち合わせ場所や時間などを相手に伝えることができる。	参考例を確認しながら机間指導で補助する。
ウ 【理解の能力】 相手が話した情報を聞き取り、返事をするなど、適切に対応することができる。	相手が話した情報を一回で聞き取り、適切に返事することができる。	相手が話した情報を聞き取り、返事することができる。	相手が話した内容を机間指導で補助する。

(3) 本時の構想

- ① 前時までの学習内容を振り返らせる。
- ② Speaking 活動で表現する語句を全体で練習し、ペア練習に移行する。
- ③ ペアワーク等を通して友達と会話をするための練習を行う。
- ④ 相手をさそい、自分の行きたい場所と待ち合わせ時間を相手に提案する。
- ⑤ 本時の評価を行う。
- ⑥ 次時の予告と宿題の提示をする。

(4) 展開

段階時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫 ☆留意点 ◎評価
導入 (10分)	1 greeting 2 Warm Up	1 明るく、元気にあいさつする。 2 前時の学習内容を復習し、教科書の本文を音読練習する。 (1)Tと一緒に (2)スピーディに (3)単語を隠して	☆クラスルームイングリッシュを進める。 ☆本文の中で練習が必要な箇所があれば繰り返し練習させる。
学習課題：友達を誘って出かけよう。			
展開 (38分)	3 学習課題の提示 (Today's Goal) 4 語句・本文練習 5 対話練習 6 Writing	3 学習課題の確認をし、本時のゴールを示す。 4 語句をかえて(チケット・時間・待ち合わせ場所)本文全体を練習する。 5 対話練習をする (1)本文の内容を変えてペアで練習する。 (2)本文の内容を変えてペア以外の人と練習する。 (3)発表 6 自分が相手と会話で話した文章を書く。	☆本時の最終的なゴールを提示し、活動の目的を説明する。 ☆テンポよく練習させる。 ☆様々な語句を練習して使える語句を増やす。 ☆聞き手を意識した話し方(声の大きさ、流暢さ、目を合わせる etc.)、ジェスチャーを取り入れる。 ◎英語を用いて相手をさそおうとしている。 ◎待ち合わせ場所や時間などを相手に伝えることができる。 ◎相手が話した情報を聞き取り、返事をする事ができる。
終結 (2分)	7 自己評価 次時の予告	7 本時の授業で目標にどのくらい近づけたか自己評価する。	☆授業の振り返りとともに、学習課題に照らし合わせて自己評価させる。